



八川駅で停車する列車



八川八幡神社の桜咲く参道

きすき  
木次線ストロール⑧

## 桜巡りの旅

### 「桜並木を走る列車と」

#### 中国地方随一の桜の名所」

木次線の桜巡りに出掛けたのは、4月8日の月曜日。先週の半ばには庄原市内の桜は満開で、奥出雲の桜はもう終わっているだろうかと心配していたのだが、天候が悪く日が続いて気温も下がり、どうにか間に合った。ちなみに、去年の芸備線の桜巡りは4月3日だった。

庄原の自宅を車で出たのが午前8時半過ぎ、今日も小雨が降っている。芸備線の沿線の桜はもうかなり散ってしまっているが、黄色い菜の花が満開で目を楽ませてくれる。とくに比婆山駅を過ぎてからの国道183号線沿道はまとまった菜の花の群生が見られて、もう少し手を加えれば「峠の菜の

花街道」として観光資源になるのではと、獲らぬ狸を思い描いた。備後落合駅の手前を国道314号線に左折して、上り坂を油木川と並走する。油木駅のそばのゲートボール場の桜は、開花が遅い種類なのか、まだ蕾のままだった。三井野原駅を超えて、おろちるプを下る。

出雲坂根駅を過ぎた所に桜並木がある。到着したのは10時前で、カメラを用意して待機。この桜並木は、木次線の線路の沿線にある。やがて、出雲坂根駅10時6分発の列車が姿を見せた。旧来のオレンジの車体。斐伊（ひい）川堤防の桜を表すピンク色のラッピング列車なら最高だったのだが、桜並木のそばを走る列車（写真上）は絵になる光景である。

撮影後に次の八川駅に向かった。駅舎のホームの反対側にある桜並木を撮ろうとしていたら、列車が入って来るとの放送があった。いつの間にか車で追い越していたらしい。狙っていたわけではないが、桜の咲く八川駅に停車する列車を撮る幸運に恵まれた。八川駅の近くにある八川八幡神社を再訪、参道の桜が満開で、いつに

発行：どら書房  
〒727-0012  
庄原市中本町 2-1-10

誌面デザイン：ROUTE183  
協賛：九日市愛好会